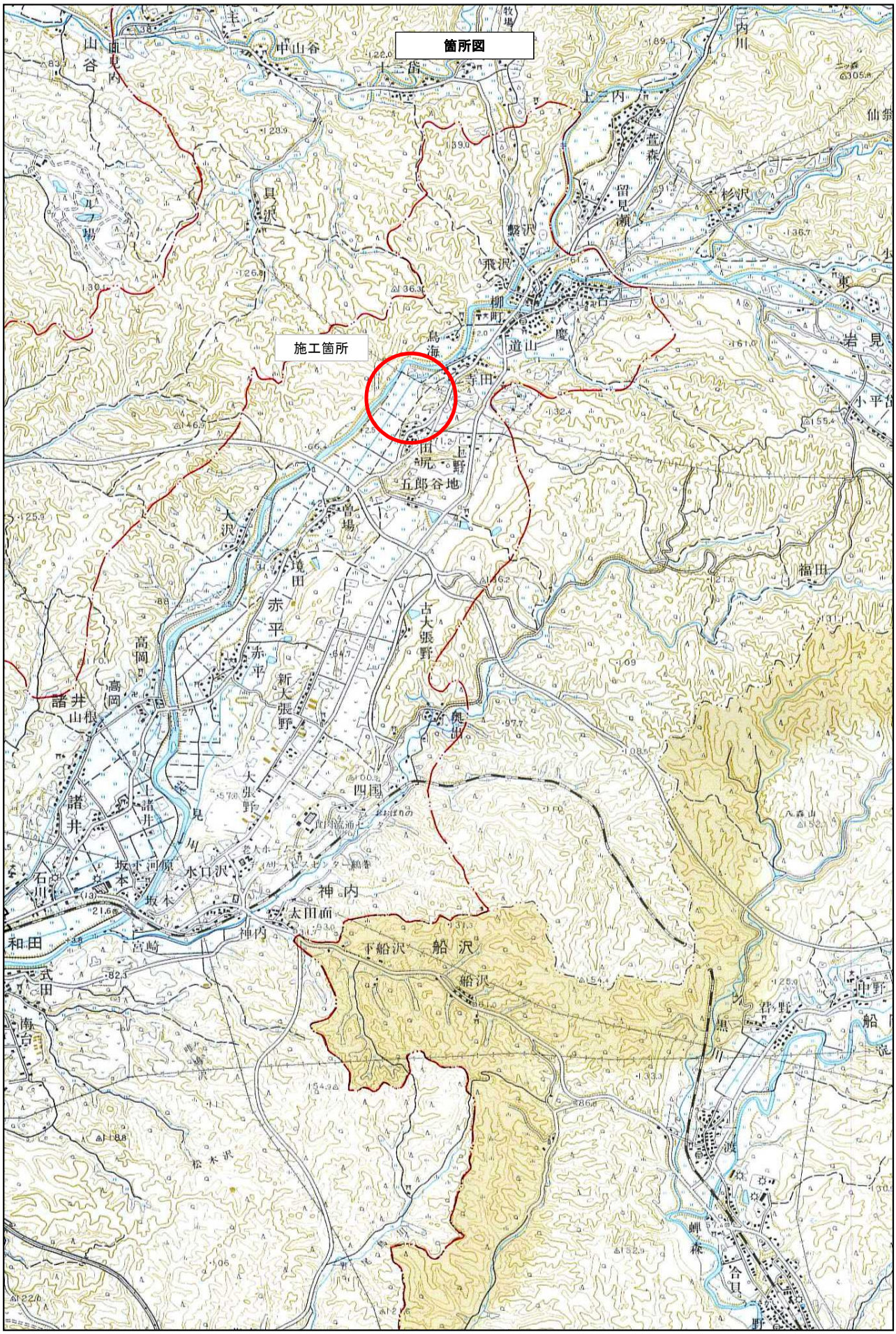
設　　計　　書

工　種	農　災
工事番号	第　１４　号

課長		副参事		担当		設計担当者　農地森林整備課・農業基盤担当

年　度	令　和　５　年　度	作成年月日	令和６年３月６日
工　事　名	農地農業用施設災害復旧工事　大蔵堰地区ほか	（工事概要） ・大蔵堰地区 土工　11,232m3	
工事箇所	河辺三内字新寺田地内ほか	・大蔵堰（４）地区 土工　205m3 水路工　182m	
設計金額		・大蔵堰（５）地区 土工　362m3 水路工　258m	
財源区分	国補　・　【県補】　・　市単	・大蔵堰（６）地区 土工　50m3	
履行期限	着工から　　日間　　または 令和６年３月３１日　まで	主任監督員（職名）氏　名	（　　）
		工事監督員（職名）氏　名	（　　）


箇所図
施工箇所

工 事 名：農地農業用施設災害復旧工事　大蔵堰地区ほか
施 工 箇 所：河辺三内字新寺田地内ほか

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

・下記の明示事項・条件及び内容のチェック印該当欄は、共通仕様書等に記載されている制約事項以外について明示するものである。
・明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生した場合は、監督員と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
・別途協議とは、設計・現場説明又は打合簿等により協議するものとする。

明示項目	明示事項	条件及び内容
工程関係	☐他工事との工程調整の必要あり	☐調整項目　☐資材等の流用　☐仮設及び工事用道路等の調整　☐建設機械等の調整　☐施工箇所　☐施工順序の調整　☐別途協議　☐その他（　　）
	☐施工時期、施工時間及び施工方法の制限あり	☐制限する工種名（　　） ☐施工時期及び施工時間（　　） ☐施　工　方　法（　　）
	☐他機関との協議が未完了	☐協議が必要な機関名（　　） ☐協　議　内　容（　　） ☐協議完了見込時期（　　）
	☐占用物件の確認の必要あり	☐占用物件名　☐電気　☐電話　☐上水道　☐下水道　☐ガス　☐その他（　　） ☐物件の確認　☐確認済　☐未確認
	☒その他（工期の変更について）	☒その他（施行期日は令和６年３月３１日としているが、国の繰越承認後に令和７年３月１９日に変更する予定である。）
用地関係	☐用地および補償物件の未処理箇所あり	☐未処理箇所　☐別添図　☐No.　～　☐別途協議 ☐完了見込時期　☐令和　年　月　旬頃　☐別途協議
	☐仮設ヤードあり	☐仮設ヤード　☐官有地　☐民有地　☐その他（　　）　☐別途協議 ☐仮設ヤード使用期間（令和　年　月　日　～　令和　年　月　日） ☐現場からの運搬距離（Ｌ＝　ｋｍ） ☐使用条件・復旧方法（　　）
	☐その他（　　）	☐その他（　　）
工事用道路関係	☐一般道路（搬入路）の使用制限あり	☐進入（搬入）経路　☐別添図等　☐その他（　　）　☐別途協議 ☐使用期間の制限内容　（　　）
	☐仮設道路の設置条件あり	☐使用中及び使用後の措置　☐別添図等　☐その他（　　）　☐別途協議 ☐用地及び構造　☐別添図等　☐その他（　　）　☐別途協議 ☐安全施設　☐別添図等　☐その他（　　）　☐別途協議
	☐その他（　　）	☐その他（　　）

明示項目	明示事項	条件及び内容	
公害対策関係	☒施工方法の制限あり	☒制限項目	☒騒音 ☒振動 □水質 □粉じん ☒排出ガス □その他（　　）
		□施工方法	□指定工法（　　） □別途協議 □その他（　　）
		□施工時期	□令和　　年　　月　　旬頃 □別途協議
	□事業損失防止に関する調査あり	□調査項目	□騒音測定 □振動測定 □水質調査 □近接家屋の事前・事後調査 □地盤沈下測定 □地下水位等の測定 □その他（　　）
		□調査方法	□別添資料 □別途協議 □その他（　　）
		□調査費	□計上あり □別途協議 □その他（　　）
	□その他（　　）	□その他（　　）	
安全対策関係	□交通安全施設等の指定あり	□交通安全施設等の配置	□別添図面 □別途協議 □その他（　　）
		□交通誘導員の配置	□別添図面 □別途協議 □配置員種別（　　） □配置人員数（昼間）（　　人/日・　　日・計　　人） □昼間勤務交代要員あり □配置人員数（夜間）（　　人/日・　　日・計　　人） □夜間勤務交代要員あり □その他（　　）
	□近接公共施設等に対する制限	□施工時間の制限（　　）	
		□工法の制限あり ・近接公共施設等の配置（□鉄道 □電気 □電話 □水道 □ガス □その他（　　）） ・制限を受ける工種　（　　） ・制限内容　（　　）	
	□土砂崩落・発破作業に対する防護施設等に指定あり	□安全防護施設等の配置	□別添図面 □別途協議 □その他（　　）
		□保安要員の配置	□別添図面 □別途協議 □その他（　　） □配置員種別（　　） □配置人員数（　　人/日・　　日・計　　人）
	□有毒ガス・酸素欠乏等の対策	□換気設備等の配置	□別添図面 □別途協議 □その他（　　）
		□危険防止対策の工法	□別添図面 □別途協議 □その他（　　）
	□イメージアップ経費適用工事	□イメージアップの内容（　　）	
	□その他（　　）	□その他（　　）	
排水工関係	□濁水、湧水等の排水に制限あり	□項目及び基準値（　　）	
	□水質調査等の必要あり	□調査項目（　　）	
	□その他（　　）	□その他（　　）	

明示項目	明示事項	条件及び内容	
建設発生土・建設廃棄物関係	☒建設発生土	☒処分方法	☐投棄処分 ☐他工事利用 ☒指定処分 ☐自由処分 ☐再生処分 ☐その他（　　）
		☒処分（受入）地	☐別添図等 ☐別途協議 ☐その他（　　） ☒場所（河辺大張野）
	※投棄処分および再生処分が選択されている場合において、当該処分（受入）地へ運搬しない場合、また、発生土の性状を十分見極め再利用可能な場合は、監督員と別途協議すること。	☒処分地の処理条件	☒押土整地 ☐その他（　　）
		☐処理（受入）費等計上あり	☐処理（受入）費 ☐押土整地 ☐その他（　　）
		☒現場からの運搬距離（L＝4.7ｋｍ）	
	☐ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	☐処分地	☐再生（中間）処分場（　　） ☐最終処分場（　　） ☐別添図書 ☐別途協議 ☐その他（　　）
	※再生（中間）処分場および最終処分場が選択されている場合において、当該処分場へ運搬しない場合は、監督員と別途協議すること。	☐処理（処分）費計上あり	☐処理（処分）費 ☐その他（　　）
		☐現場からの運搬距離（L＝　　ｋｍ）	
	☐ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	☐処分地	☐再生（中間）処分場（　　） ☐最終処分場（　　） ☐別添図書 ☐別途協議 ☐その他（　　）
	※再生（中間）処分場および最終処分場が選択されている場合において、当該処分場へ運搬しない場合は、監督員と別途協議すること。	☐処理（処分）費計上あり	☐処理（処分）費 ☐その他（　　）
		☐現場からの運搬距離（L＝　　ｋｍ）	
	☐木材	☐処分地	☐再生（中間）処分場（　　） ☐最終処分場（　　） ☐別添図書 ☐別途協議 ☐その他（　　）
	※再生（中間）処分場および最終処分場が選択されている場合において、当該処分場へ運搬しない場合は、監督員と別途協議すること。	☐処理（処分）費計上あり	☐処理（処分）費 ☐その他（　　）
		☐現場からの運搬距離（L＝　　ｋｍ）	
	☐汚泥	☐処分地	☐再生（中間）処分場（　　） ☐最終処分場（　　） ☐別添図書 ☐別途協議 ☐その他（　　）
	※再生（中間）処分場および最終処分場が選択されている場合において、当該処分場へ運搬しない場合は、監督員と別途協議すること。	☐処理（処分）費計上あり	☐処理（処分）費 ☐その他（　　）
		☐現場からの運搬距離（L＝　　ｋｍ）	
	☐その他（　　）	☐処分地	☐再生（中間）処分場（　　） ☐最終処分場（　　） ☐別添図書 ☐別途協議 ☐その他（　　）
		☐処理（処分）費計上あり	☐処理（処分）費 ☐その他（　　）
		☐現場からの運搬距離（L＝　　ｋｍ）	
		☐その他（　　）	

明示項目	明示事項	条件及び内容					
仮設備関係	□仮設備の設置条件あり	□使用期間（　　）					
		□借地条件（　　）					
		□転用あり（　　）					
		□兼用あり（　　）					
		□引継あり（　　）					
	□仮設物の構造及び施工方法の指定	□構造及び設計条件	□別添図等	□その他（　　）	□別途協議		
		□施工方法（　　）					
	□その他（　　）	□その他　（　　）					
薬液注入関係	□薬液注入工法等の指定あり	□工法区分（　　）					
		□材料種類（　　）					
		□施工範囲（　　）					
		□削孔関係（　　）					
		□注入量　（　　）					
		□その他　（　　）					
	□提出書類あり	□工法関係（　　）					
		□材料関係（　　）					
	□確認事項あり	□注入量　□注入の管理　□注入の効果　□その他（　　）					
	□その他（　　）	□その他　（　　）					
地盤改良関係	□工法等の指定あり	□工法区分（　　）					
		□材料種類（　　）					
		□施工範囲（　　）					
		□その他　（　　）					
	□提出書類あり	□工法関係（　　）					
		□材料関係（　　）					
		□試験関係（　　）					
	□確認事項あり	□配合　□現場 CBR 値　□その他（　　）					
	□その他（　　）	□その他（　　）					
工事支障物件関係	□工事支障物件あり	□電気	□移設時期（令和　　年　　月　　日頃　□別途協議）				
		□電話	□移設時期（令和　　年　　月　　日頃　□別途協議）				
		□上水道	□移設時期（令和　　年　　月　　日頃　□別途協議）				
		□下水道	□移設時期（令和　　年　　月　　日頃　□別途協議）				
		□ガス	□移設時期（令和　　年　　月　　日頃　□別途協議）				
		□有線	□移設時期（令和　　年　　月　　日頃　□別途協議）				
		□その他（　　）	□移設時期（令和　　年　　月　　日頃　□別途協議）				

明示項目	明示事項	条件及び内容	
再生材使用関係	☒再生材使用の指定あり	☒再生材の種類	□再生アスコン □再生路盤材 ☒再生クラッシャーラン □その他（　　）
		☒再生材が使用できない場合の措置	□新材に変更 ☒別途協議 □その他（　　）
	□再生ｱｽｺﾝへの溶融スラグの混入	□溶融スラグ混入の有無	□有 □無 □その他（　　）
		□溶融スラグ混入合材の種類	□再生密粒度アスコン(13) □再生密粒度アスコン(20) □再生粗粒度アスコン(13) □再生粗粒度アスコン(20) □その他（　　）
		□溶融スラグ混入が使用できない場合	□新材に変更 □その他（　　） □別途協議
	☒再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝの規格	☒ＲＣ－４０ □ＲＣ－８０	☒粒度範囲は、舗装再生便覧の「再生クラッシャーランの望ましい粒度範囲」の規格に適合するものとする。
			☒再生クラッシャーランの粒度について、確認できる試験結果または品質を証明する資料を、使用する前に監督員に提出すること。
	□秋田県認定リサイクル製品の使用	□秋田県認定リサイクル製品を使用する 種類：□歩車道境界ブロック（　　） □鉄筋コンクリートU型側溝（　　） □鉄筋コンクリートU型側溝蓋（　　） □自由勾配側溝（　　） □自由勾配側溝蓋（　　） □鉄筋コンクリートベンチフリューム（　　） □鉄筋コンクリート排水フリューム（　　）	
	※溶融スラグ入りプレキャストコンクリート製品またはフライアッシュ入りプレキャストコンクリート製品	□秋田県認定リサイクル製品を使用するように努める	□種類（上記以外のプレキャスト工場製品）
		□秋田県認定リサイクル製品が使用できない場合	□別途協議 □その他（　　）
	□その他（　　）	□その他（　　）	
適用条件	☒	☒秋田市土木工事共通仕様書（令和５年１２月１日以降適用）を適用	
		□上記仕様書の部分改訂の内容も含む（最新改訂 令和　　年　　月　　日）	
		□土木構造物設計マニュアル(案)　　編を適用	
		□その他（　　）	
ＣＯＲＩＮＳ登録	☒　　※請負代金額が 500 万円以上の場合	☒秋田市土木工事共通仕様書に基づき、工事実績情報サービス（ＣＯＲＩＮＳ）の登録を行うこと	
再生資源利用計画書	□	□ＣＯＢＲＩＳシステムを用いて再生資源利用（促進）計画書（実施書）を作成し、契約締結後１４日以内に監督員へ提出すること。また、受注者は、再生資源利用（促進）計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げること。	

明示項目	明示事項	条件及び内容
現場代理人	☒	☒兼務を認める（常駐義務緩和の要件を満たす場合） ☐兼務を認めない（契約金額が減額になった場合においても、現場代理人の兼務は認めません）
監理(主任)技術者	☒ ※請負代金額が 4,000 万円以上の場合	☐請負契約の締結の翌日から令和　　年　　月　　日までは監理(主任)技術者の専任を要しない。 ☒請負契約の締結後、監督員と協議して定めた現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、資機材の搬入、仮設工事等が開始されるまでの間)については、監理(主任)技術者の工事現場への専任を要しない。 ☒工事完成後、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者へ通知した日以降、事務手続きおよび後片付け等のみが残っている期間については、監理(主任)技術者の工事現場への専任を要しない。
担い手確保関係	☐週休二日制モデル工事 （受注者希望型）	☐本工事は、秋田市建設部週休二日制モデル工事の試行対象案件である。 ☐受注者は、受注後速やかに当該モデル工事の希望の有無について、工事打合簿により、監督員と協議するものとする。 ☐協議により試行する場合は、「秋田市建設部週休二日制モデル工事試行実施要領」に基づき、実施するものとする。
電子納品	☒工事完成図書	☒工事完成図書は電子納品とし、電子データは、「工事完成図書の電子納品等要領」に基づいて作成すること。電子媒体の提出部数は１部とする。なお、要領に記載のない項目の電子化および紙媒体による提出、または、電子納品によりがたい場合については、監督員と協議すること。
	☒工事検査	☒検査に必要な電子機器類の準備および検査時の機器操作は受注者が実施すること。
	☐その他（　　）	☐その他（　　）
その他	☐工事用機材の保管及び仮置きの必要あり	☐保管場所（　　）　☐期間（　　）　☐その他（　　）
	☐現場発生品あり	☐品名（　　）　☐数量（　　） ☐保管場所（　　）　☐その他（　　）
	☐支給品あり	☐品名（　　）　☐数量（　　）　☐引渡場所（　　） ☐時期（令和　　年　　月　　旬頃）　☐その他（　　）
	☐盛土材等工事間流用あり	☐運搬方法　☐受注者で運搬　☐受注者以外で運搬　☐別途協議　☐その他（　　） ☐引渡場所　☐別添図等　☐別途協議　☐その他（　　） ☐数量（　　） ☐運搬距離（Ｌ＝　　ｋｍ）
	☒法定外の労災保険の付保	☒本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。その保険証券等の写しを発注者に提出すること。
	☒その他（労務単価について）	☒その他（労務単価は、秋田県実施単価表（R6.3.1 以降適用）（旧労務単価)に基づき積算しているが、契約後、秋田県実施単価表(R6.3.1 以降適用　第１回改定)の新労務単価に設計変更するものとする。）

＝補足事項＝

・共通仕様書１－１－５１「工事測量」に基づいた測量結果について、契約締結後、３０日以内に監督員へ提出すること。また、その測量結果に基づき、現場と設計図書を照査し、数値等に差異が生じた場合についても、同期間内に監督員と協議することとする。その協議内容について必要があれば、設計変更の対象とする。

誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和５年度

農地農業用施設災害復旧事業
19-25
農地農業用施設災害復旧工事　大蔵堰地区

金抜き設計書

（当初）

秋田市

(1/ 7)

事業名	農地農業用施設災害復旧事業　19-25
工事名	農地農業用施設災害復旧工事　大蔵堰地区

項　目　名	内　　容
公所名	秋田市
事業名	農地農業用施設災害復旧事業
地区名	19-25
工事名	農地農業用施設災害復旧工事　大蔵堰地区
施工場所	
管理番号	
工事区分	
積算区分	当初積算
地域区分	
地区区分	秋田A（秋田）
工期	
積算体系年月	令和６年３月
単価期適用年月	令和６年３月－A
歩掛期適用年番号	令和５年９９号－A
電力会社名	

事業名	農地農業用施設災害復旧事業　19-25
工事名	農地農業用施設災害復旧工事　大蔵堰地区

番号	項目名	規格	数量	単位	金額	備考
	請負工事費					
	・工事価格					
	・消費税相当額（１０%）					
	工事内容					

事業名	農地農業用施設災害復旧事業　19-25
工事名	農地農業用施設災害復旧工事　大蔵堰地区

項　目　名	内　　容
工事名	
工事区分	
積算区分	
積算体系区分	
工種区分	ほ場整備工事
工種体系区分	
工事工種体系年番号	
契約保証費	
前払金支出割合	35%を超え40%以下
電力区分	低圧・業者持・１年未満
冬期補正	なし
豪雪補正	１０％
亜熱帯補正	なし
週休２日補正	補正なし
冬期補正（現場管理費）	0.00%
熱中症対策補正（現場管理費）	0.00%
施工地域区分	補正なし
現場環境改善費の計上	しない

事業名	農地農業用施設災害復旧事業 19-25
工事名	農地農業用施設災害復旧工事 大蔵堰地区

項 目 名	数 量	単位	金 額	備 考
1 工事価格	1.000	式		
2 ・工事原価	1.000	式		
3 ・・直接工事費	1.000	式		
4 ・・・直接工事費（仮設工を除く）	1.000	式		
5 ・・・直接工事費（仮設工）	1.000	式		
6 ・・間接工事費	1.000	式		
7 ・・・共通仮設費	1.000	式		
8 ・・・・運搬費～営繕費等				
		%		
9 ・・・現場管理費	1.000	式		
10 ・・・・現場管理費（率計上）				
		%		
11 ・一般管理費等				
		%		
12 処分費等（直接工事費の内数）	1.000	式		
13 処分費等(率対象外)	1.000	式		
14 純工事費	1.000	式		

事業名	農地農業用施設災害復旧事業 19-25
工事名	農地農業用施設災害復旧工事 大蔵堰地区

名 称（規 格）	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
直接工事費（仮設工を除く）					
・大蔵堰地区	1.000	式			
・・土工	1.000	式			
・・・ 土工	1.000	式			1 式当たり
T00001 排土（砂利）機械掘削 BH0.8m3	11,232.000	m3			歩A・単A T単 1号
T00002 排土（砂利）排土 小運搬100m未満＋BH0.8＋10tDT L=4.7km＋残土整地	11,232.000	m3			歩A・単A T単 2号
T00004 表土（購入土）砂利めり込み分 小運搬100m未満＋20tBD＋4m以上	2,228.000	m3			歩A・単A T単 3号
T00005 基盤整地仕上げ 15tBD	44,551.000	㎡			歩A・単A T単 4号
T00006 表土整地仕上げ 15tBD	44,551.000	㎡			歩A・単A T単 5号
S02123 流木処分費	1.000	式			歩A・単A S単 2号
合 計					
・・畦畔工	1.000	式			
・・・ 畦畔工	1.000	式			1 式当たり
T00008 B列畦畔 畦畔築立	300.000	m			歩A・単A T単 6号
T00009 C列畦畔 畦畔築立	300.000	m			歩A・単A T単 7号
合 計					

事業名	農地農業用施設災害復旧事業 19-25
工事名	農地農業用施設災害復旧工事 大蔵堰地区

名 称（規 格）	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
直接工事費（仮設工）					
・大蔵堰地区	1.000	式			
・・仮設工	1.000	式			
・・・ 仮設工	1.000	式			1 式当たり
T00011 道路補修（2号道路） B=0.5m×2 RC-40 t=7cm	280.000	m			歩A・単A T単 8号
T00012 道路補修（3号道路） B=0.5m×2 RC-40 t=5cm	290.000	m			歩A・単A T単 9号
合 計					

誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和５年度

農地農業用施設災害復旧事業
19-144　大蔵堰（４）地区
農地農業用施設災害復旧工事　大蔵堰（４）地区

金抜き設計書

（当初）

秋田市

(1/ 6)

事業名	農地農業用施設災害復旧事業　19-144　大蔵堰（４）地区
工事名	農地農業用施設災害復旧工事　大蔵堰（４）地区

項　目　名	内　　容
公所名	秋田市
事業名	農地農業用施設災害復旧事業
地区名	19-144　大蔵堰（４）地区
工事名	農地農業用施設災害復旧工事　大蔵堰（４）地区
施工場所	
管理番号	
工事区分	
積算区分	当初積算
地域区分	
地区区分	秋田A（秋田）
工期	
積算体系年月	令和６年３月
単価期適用年月	令和６年３月－Ａ
歩掛期適用年番号	令和５年９９号－Ａ
電力会社名	

事業名	農地農業用施設災害復旧事業　19-144　大蔵堰（4）地区
工事名	農地農業用施設災害復旧工事　大蔵堰（4）地区

番号	項　目　名	規　　格	数　量	単位	金　額	備　考
	請負工事費					
	・工事価格					
	・消費税相当額（１０％）					
	工事内容					

事業名	農地農業用施設災害復旧事業　19-144　大蔵堰（４）地区
工事名	農地農業用施設災害復旧工事　大蔵堰（４）地区

項　目　名	内　　容
工事名	
工事区分	
積算区分	
積算体系区分	
工種区分	水路工事
工種体系区分	
工事工種体系年番号	
契約保証費	
前払金支出割合	35%を超え40%以下
電力区分	低圧・業者持・１年未満
冬期補正	なし
豪雪補正	１０％
亜熱帯補正	なし
週休２日補正	補正なし
冬期補正（現場管理費）	0.00%
熱中症対策補正（現場管理費）	0.00%
施工地域区分	補正なし
現場環境改善費の計上	しない

事業名	農地農業用施設災害復旧事業 19-144 大蔵堰（4）地区
工事名	農地農業用施設災害復旧工事 大蔵堰（4）地区

項 目 名	数 量	単位	金 額	備 考
1 工事価格	1.000	式		
2 ・工事原価	1.000	式		
3 ・・直接工事費	1.000	式		
4 ・・・直接工事費（仮設工を除く）	1.000	式		
5 ・・間接工事費	1.000	式		
6 ・・・共通仮設費	1.000	式		
7 ・・・・運搬費～営繕費等				
		%		
8 ・・・現場管理費	1.000	式		
9 ・・・・現場管理費（率計上）				
		%		
10 ・一般管理費等				
		%		
11 純工事費	1.000	式		

事業名	農地農業用施設災害復旧事業 19-144 大蔵堰（４）地区
工事名	農地農業用施設災害復旧工事 大蔵堰（４）地区

名 称（規 格）	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
直接工事費（仮設工を除く）					
・大蔵堰（４）地区	1.000	式			
・・2号用水路 片溝畔 流出区間	1.000	式			
・・・ 土工	1.000	式			1 式当たり
T00001 掘削押土 20tBD	49.000	m3			歩A・単A T単 1号
T00002 機械掘削 BH0.45m3	29.000	m3			歩A・単A T単 2号
T00003 埋戻（流用土） BH0.45m3＋振動ｺﾝﾊﾟｸﾀ	10.000	m3			歩A・単A T単 3号
T00004 盛土（購入土） BH0.45m3＋振動ｺﾝﾊﾟｸﾀ	20.000	m3			歩A・単A T単 4号
T00005 盛土面仕上げ 機械法面整形	78.000	㎡			歩A・単A T単 5号
合 計					
・・・ 水路工	1.000	式			1 式当たり
T00006 ＢＦ３００Ｂ型 B300-H300	98.000	m			歩A・単A T単 6号
合 計					
・・3・4号用水路 片溝畔 流出区間	1.000	式			
・・・ 土工	1.000	式			1 式当たり
T00007 盛土（購入土） BH0.45m3＋振動ｺﾝﾊﾟｸﾀ	36.000	m3			歩A・単A T単 7号
T00005 盛土面仕上げ 機械法面整形	21.000	㎡			歩A・単A T単 5号
合 計					
・・・ 水路工	1.000	式			1 式当たり
T00006 ＢＦ３００Ｂ型 B300-H300	26.000	m			歩A・単A T単 6号
合 計					
・・4号用水路 片溝畔 流出区間	1.000	式			
・・・ 土工	1.000	式			1 式当たり
T00008 盛土（購入土） BH0.45m3＋振動ｺﾝﾊﾟｸﾀ	35.000	m3			歩A・単A T単 8号
T00009 盛土面仕上げ 機械法面整形	35.000	㎡			歩A・単A T単 9号
合 計					
・・・ 水路工	1.000	式			1 式当たり
T00006 ＢＦ３００Ｂ型 B300-H300	58.000	m			歩A・単A T単 6号
合 計					
・・3・4・5号用水路 排土区間	1.000	式			
・・・ 排土	1.000	式			1 式当たり
T00010 人力排土 人力＋BH0.45m3＋4tDT L=4.1km+残土整地	26.000	m3			歩A・単A T単 10号
T00011 切土面仕上げ 機械法面整形	130.000	㎡			歩A・単A T単 11号
合 計					

誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和５年度

農地農業用施設災害復旧事業
19－145　大蔵堰（５）地区
農地農業用施設災害復旧工事　大蔵堰（５）地区

金抜き設計書

（当初）

秋田市

(1/ 6)

事業名	農地農業用施設災害復旧事業　19－145　大蔵堰（５）地区
工事名	農地農業用施設災害復旧工事　大蔵堰（５）地区

項　目　名	内　　容
公所名	秋田市
事業名	農地農業用施設災害復旧事業
地区名	19－145　大蔵堰（５）地区
工事名	農地農業用施設災害復旧工事　大蔵堰（５）地区
施工場所	
管理番号	
工事区分	
積算区分	当初積算
地域区分	
地区区分	秋田A（秋田）
工期	
積算体系年月	令和６年３月
単価期適用年月	令和６年３月－Ａ
歩掛期適用年番号	令和５年９９号－Ａ
電力会社名	

事業名	農地農業用施設災害復旧事業　19－145　大蔵堰（５）地区
工事名	農地農業用施設災害復旧工事　大蔵堰（５）地区

番号	項目名	規格	数量	単位	金額	備考
	請負工事費					
	・工事価格					
	・消費税相当額（１０%）					
	工事内容					

事業名	農地農業用施設災害復旧事業　19－145　大蔵堰（５）地区
工事名	農地農業用施設災害復旧工事　大蔵堰（５）地区

項　目　名	内　　容
工事名	
工事区分	
積算区分	
積算体系区分	
工種区分	水路工事
工種体系区分	
工事工種体系年番号	
契約保証費	
前払金支出割合	35%を超え40%以下
電力区分	低圧・業者持・１年未満
冬期補正	なし
豪雪補正	１０％
亜熱帯補正	なし
週休２日補正	補正なし
冬期補正（現場管理費）	0.00%
熱中症対策補正（現場管理費）	0.00%
施工地域区分	補正なし
現場環境改善費の計上	しない

事業名	農地農業用施設災害復旧事業 19−145 大蔵堰（５）地区
工事名	農地農業用施設災害復旧工事 大蔵堰（５）地区

項 目 名	数 量	単位	金 額	備 考
1 工事価格	1.000	式		
2 ・工事原価	1.000	式		
3 ・・直接工事費	1.000	式		
4 ・・・直接工事費（仮設工を除く）	1.000	式		
5 ・・間接工事費	1.000	式		
6 ・・・共通仮設費	1.000	式		
7 ・・・・運搬費～営繕費等				
		%		
8 ・・・現場管理費	1.000	式		
9 ・・・・現場管理費（率計上）				
		%		
10 ・一般管理費等				
		%		
11 純工事費	1.000	式		

事業名	農地農業用施設災害復旧事業　19－145　大蔵堰（５）地区
工事名	農地農業用施設災害復旧工事　大蔵堰（５）地区

名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
直接工事費（仮設工を除く）					
・大蔵堰（５）地区	1.000	式			
・・1･2号排水路　両溝畔盛土	1.000	式			
・・・ 土工	1.000	式			1 式当たり
T00001　機械掘削 BH0.45m3	155.000	m3			歩A・単A T単　1号
T00002　埋戻（流用土） BH0.45m3＋振動ｺﾝﾊﾟｸﾀ	66.000	m3			歩A・単A T単　2号
T00003　盛土（流用土） BH0.45m3＋振動ｺﾝﾊﾟｸﾀ	66.000	m3			歩A・単A T単　3号
T00004　盛土面仕上げ 機械法面整形	354.000	㎡			歩A・単A T単　4号
T00015　残土処理	8.000	m3			歩A・単A T単　11号
合　計					
・・・ 水路工	1.000	式			1 式当たり
T00005　排水フリューム　機械小運搬100m H500-B400	221.000	m			歩A・単A T単　5号
合　計					
・・幹線排水路　排土区間	1.000	式			
・・・ 排土	1.000	式			1 式当たり
T00010　人力排土 人力＋BH0.45m3＋＋4tDT　L=4.1km+残土整地	49.000	m3			歩A・単A T単　6号
合　計					
・・幹線排水路　流出区間	1.000	式			
・・・ 土工	1.000	式			1 式当たり
T00011　埋戻（購入土） BH0.45m3＋振動ｺﾝﾊﾟｸﾀ	4.000	m3			歩A・単A T単　7号
T00012　盛土（購入土） BH0.45m3＋振動ｺﾝﾊﾟｸﾀ	22.000	m3			歩A・単A T単　8号
T00013　盛土面仕上げ 機械法面整形	26.000	㎡			歩A・単A T単　9号
合　計					
・・・ 水路工	1.000	式			1 式当たり
T00014　ＢＦ４５０Ｂ型　在材使用 B450-H450	37.000	m			歩A・単A T単　10号
合　計					

誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和５年度

農地農業用施設災害復旧工事
19－146　大蔵堰（６）地区
農地農業用施設災害復旧工事　大蔵堰（６）地区

金抜き設計書

（当初）

秋田市

(1/ 6)

事業名	農地農業用施設災害復旧工事　19－146　大蔵堰（６）地区
工事名	農地農業用施設災害復旧工事　大蔵堰（６）地区

項　目　名	内　　容
公所名	秋田市
事業名	農地農業用施設災害復旧工事
地区名	19－146　大蔵堰（６）地区
工事名	農地農業用施設災害復旧工事　大蔵堰（６）地区
施工場所	
管理番号	
工事区分	
積算区分	当初積算
地域区分	
地区区分	秋田A（秋田）
工期	
積算体系年月	令和６年３月
単価期適用年月	令和６年３月－Ａ
歩掛期適用年番号	令和５年９９号－Ａ
電力会社名	

事業名	農地農業用施設災害復旧工事　19－146　大蔵堰（6）地区
工事名	農地農業用施設災害復旧工事　大蔵堰（6）地区

番号	項 目 名	規 格	数 量	単位	金 額	備 考
	請負工事費					
	・工事価格					
	・消費税相当額（１０%）					
	工事内容					

事業名	農地農業用施設災害復旧工事　19－146　大蔵堰（６）地区
工事名	農地農業用施設災害復旧工事　大蔵堰（６）地区

項　目　名	内　　容
工事名	
工事区分	
積算区分	
積算体系区分	
工種区分	道路改良工事
工種体系区分	
工事工種体系年番号	
契約保証費	
前払金支出割合	35%を超え40%以下
電力区分	低圧・業者持・１年未満
冬期補正	なし
豪雪補正	１０％
亜熱帯補正	なし
週休２日補正	補正なし
冬期補正（現場管理費）	0.00%
熱中症対策補正（現場管理費）	0.00%
施工地域区分	補正なし
現場環境改善費の計上	しない

事業名	農地農業用施設災害復旧工事　19－146　大蔵堰（６）地区
工事名	農地農業用施設災害復旧工事　大蔵堰（６）地区

項　目　名	数　量	単位	金　額	備　考
1 工事価格	1.000	式		
2 ・工事原価	1.000	式		
3 ・・直接工事費	1.000	式		
4 ・・・直接工事費（仮設工を除く）	1.000	式		
5 ・・間接工事費	1.000	式		
6 ・・・共通仮設費	1.000	式		
7 ・・・・運搬費～営繕費等				
		%		
8 ・・・現場管理費	1.000	式		
9 ・・・・現場管理費（率計上）				
		%		
10 ・一般管理費等				
		%		
11 純工事費	1.000	式		

事業名	農地農業用施設災害復旧工事 19－146 大蔵堰（６）地区
工事名	農地農業用施設災害復旧工事 大蔵堰（６）地区

名 称（規 格）	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
直接工事費（仮設工を除く）					
・大蔵堰（６）地区	1.000	式			
・・道路2号（Bタイプ）	1.000	式			
・・・ 土工	1.000	式			1 式当たり
T00005 路体盛土（流用土） 4.0m以上	37.000	m3			歩A・単A T単 4号
T00002 路床盛土（購入土） BH0.8m3+2.5m以上4.0m未満(BH0.28m3+振動ﾛｰﾗ3～4t)	13.000	m3			歩A・単A T単 1号
T00003 盛土面仕上げ 機械法面整形	11.000	㎡			歩A・単A T単 2号
合 計					
・・・ 敷砂利工	1.000	式			1 式当たり
T00004 敷砂利工 RC-40 t=10cm	26.000	㎡			歩A・単A T単 3号
合 計					

事業名	農地農業用施設災害復旧事業
工事名	農地農業用施設災害復旧工事　大蔵堰地区ほか

「留意事項」

1　参考図書は「真摯で機動性のある見積り」を目的に提示するものである。

2　参考図書は、発注者が用いた積算資料を、参考として提示するもので、契約上拘束するものではない。

3　参考図書の内容は、設計図書の変更あるいは誤びゅうによるもの以外、設計変更の対象としない。

数　量　集　計　表

大蔵堰

名　称	規　格　寸　法	単位	数　量	摘　要
田		ha	6.9	
土　工		式	1	
排　土　（　砂　利　）	BH0.8m3+小運搬100m未満+ 10tDT L=4.7km+残土整地	m3	11,232	
機　械　掘　削	BH0.8m3	m3	11,232	砂利　めり込み5cm 9,004　+　2,228
排　土	小運搬100m未満+ BH0.8m3+10tDT L=4.7km+残土整地	m3	11,232	
表　土　（　購　入　土　）	小運搬100m未満+20tBD+4m以上	m3	2,228	砂利めり込み分　黒土割増
基　盤　整　地　仕　上　げ	15tBD	m2	44,551	
表　土　整　地　仕　上　げ	15tBD	m2	44,551	
流　木　処　分　費		式	1	
畦　畔　工		m	600	
B　列　畦　畔	小運搬100m未満 3本	m	300	
C　列　畦　畔	小運搬100m未満 3本	m	300	
仮　設　工		式	1	
道　路　補　修		m	570	
2　号　道　路	B=0.5m×2 RC-40　t＝7cm	m	280	
3　号　道　路	B=0.5m×2 RC-40　t＝5cm	m	290	

数　量　集　計　表

大蔵堰 (4)

名　称	規　格　寸　法	単位	数　量	摘　要
水　路				
2　号　用　水　路 片溝畔　流出区間	1号用水路を除く	m	98.0	98.0
土　工		式	1	
掘　削　押　土	20tBD	m3	49	
機　械　掘　削	BH0.45m3	m3	29	
埋　戻（流用土）	BH0.45m3+振動ｺﾝﾊﾟｸﾀ	m3	10	
盛　土（購入土）	BH0.45m3+振動ｺﾝﾊﾟｸﾀ	m3	20	
盛　土　面　仕　上　げ	機械法面整形	m2	78	
水　路　工		式	1	
Ｂ　Ｆ　３　０　０　Ｂ　型	B300-H300	m	98.0	
3・4号用水路 片溝畔　流出区間		m	26.0	13.0　+　13.0
土　工		式	1	
盛　土（購入土）	BH0.45m3+振動ｺﾝﾊﾟｸﾀ	m3	36	
盛　土　面　仕　上　げ	機械法面整形	m2	21	
水　路　工		式	1	
Ｂ　Ｆ　３　０　０　Ｂ　型	B300-H300	m	26.0	
4　号　用　水　路 片溝畔　流出区間		m	58.0	
土　工		式	1	
盛　土（購入土）	BH0.45m3+振動ｺﾝﾊﾟｸﾀ	m3	35	
盛　土　面　仕　上　げ	機械法面整形	m2	35	
水　路　工		式	1	
Ｂ　Ｆ　３　０　０　Ｂ　型	B300-H300	m	58.0	

数　量　集　計　表

大蔵堰 (4)

名　称	規　格　寸　法	単位	数　量	摘　要
3・4・5号用水路 排　土　区　間		m	259.0	97.0 + 38.0 + 124
土　工		式	1	
人　力　排　土	人力+BH0.45m +4tDT L=4.1km+残土整地	m3	26	
切　土　面　仕　上　げ	機械法面整形	m2	130	

数　量　集　計　表

大蔵堰（5）

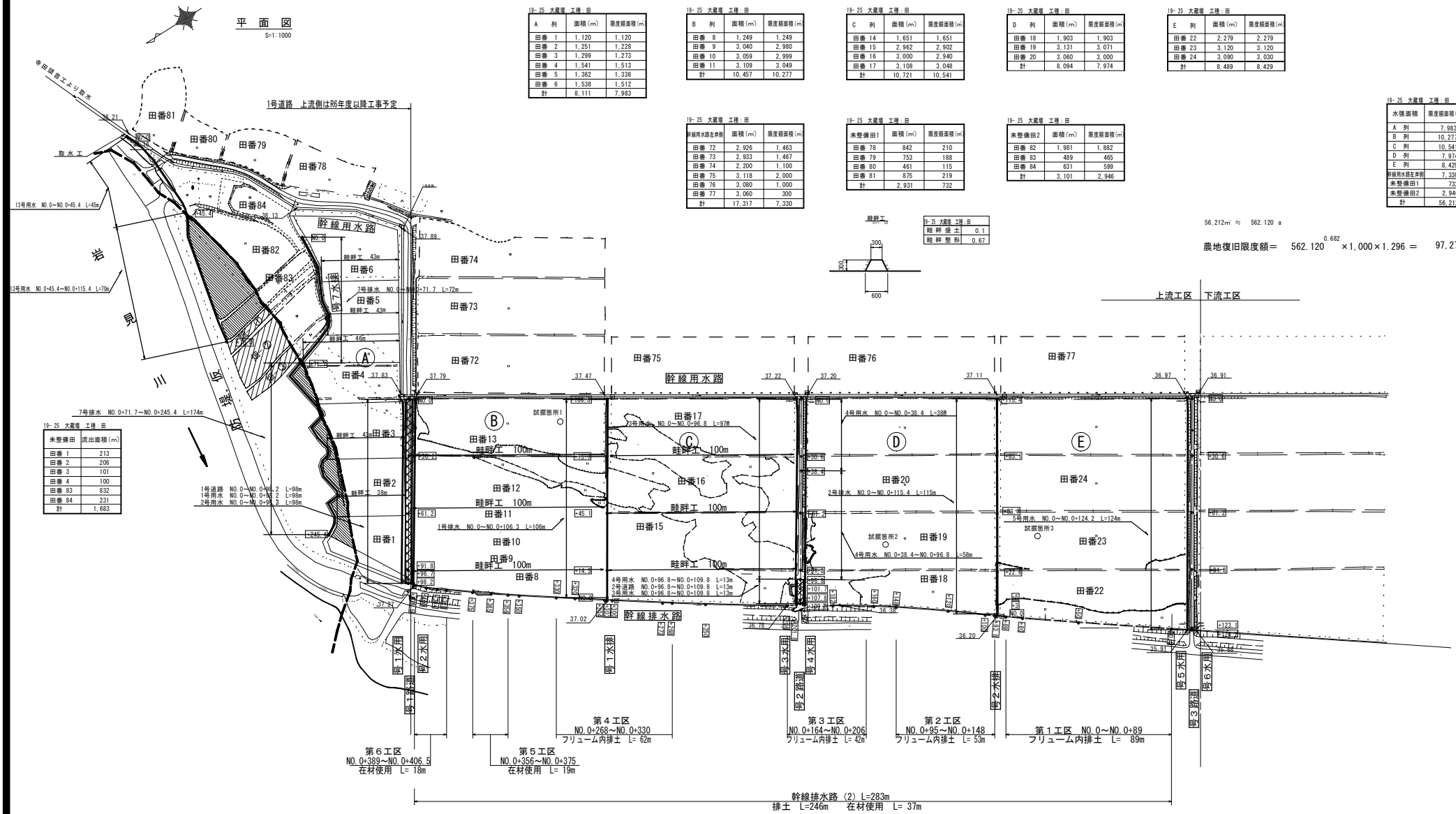
名　称	規　格　寸　法	単位	数　量	摘　要
水　路				
1・2号排水路 両溝畔盛土		m	221.0	106.0 + 115.0
土工		式	1	
機械掘削	BH0.45m3	m3	155	
埋戻（流用土）	BH0.45m3+振動ｺﾝﾊﾟｸﾀ	m3	66	
盛土（流用土）	BH0.45m3+振動ｺﾝﾊﾟｸﾀ	m3	66	
盛土面仕上げ	機械法面整形	m2	354	
残土処理		m3	8	
水路工		式	1	
ＤＦ５０４型	機械小運搬100m H500-B400	m	221	
幹線排水路 排土区間		m	246.0	
土工		式	1	
人力排土	人力+BH0.45m3+4tDT L=4.1km+残土整地	m3	49	
幹線排水路 流出区間		m	37.0	
土工		式	1	
埋戻（購入土）	BH0.45m3+振動ｺﾝﾊﾟｸﾀ	m3	4	
盛土（購入土）	BH0.45m3+振動ｺﾝﾊﾟｸﾀ	m3	22	
盛土面仕上げ	機械法面整形	m2	26	
水路工		式	1	
ＢＦ４５０Ｂ型	B450-H450　在材使用	m	37.0	

数　量　集　計　表

名　称	規　格　寸　法	単位	数　量	摘　要
道　路				
2　号　道　路 B　タ　イ　プ		m	13	
土　工		式	1	
路体盛土（流用土）	4.0m以上	m3	37	
路床盛土（購入土）	BH0.8m3+2.5m以上4.0m未満	m3	13	
盛土面仕上げ	機械法面整形	m2	11	
敷砂利工		式	1	
敷砂利工	RC-40 t=10cm	m2	26	13　×　2.0

平面図

S=1:1000



19-25 大蔵堰 工種：田

A 列	面積(㎡)	限度額面積(㎡)
田番 1	1,120	1,120
田番 2	1,251	1,228
田番 3	1,299	1,273
田番 4	1,541	1,513
田番 5	1,362	1,336
田番 6	1,538	1,512
計	8,111	7,983

B 列	面積(㎡)	限度額面積(㎡)
田番 8	1,249	1,249
田番 9	3,040	2,980
田番 10	3,059	2,999
田番 11	3,109	3,049
計	10,457	10,277

C 列	面積(㎡)	限度額面積(㎡)
田番 14	1,651	1,651
田番 15	2,962	2,902
田番 16	3,000	2,940
田番 17	3,108	3,048
計	10,721	10,541

D 列	面積(㎡)	限度額面積(㎡)
田番 18	1,903	1,903
田番 19	3,131	3,071
田番 20	3,060	3,000
計	8,094	7,974

E 列	面積(㎡)	限度額面積(㎡)
田番 22	2,279	2,279
田番 23	3,120	3,120
田番 24	3,090	3,030
計	8,489	8,429

幹線用水路左岸側	面積(㎡)	限度額面積(㎡)
田番 72	2,926	1,463
田番 73	2,933	1,467
田番 74	2,200	1,100
田番 75	3,118	2,000
田番 76	3,080	1,000
田番 77	3,060	300
計	17,317	7,330

未整備田1	面積(㎡)	限度額面積(㎡)
田番 78	842	210
田番 79	753	188
田番 80	461	115
田番 81	875	219
計	2,931	732

未整備田2	面積(㎡)	限度額面積(㎡)
田番 82	1,981	1,882
田番 83	489	465
田番 84	631	599
計	3,101	2,946

水張面積	限度額面積(㎡)
A 列	7,983
B 列	10,277
C 列	10,541
D 列	7,974
E 列	8,429
幹線用水路左岸側	7,330
未整備田1	732
未整備田2	2,946
計	56,212

畦畔工

畦畔盛土	0.1
畦畔整形	0.67

56,212㎡ ≒ 562.120 a

農地復旧限度額＝ 562.120 $^{0.682}$ ×1,000×1.296 ＝ 97,272 千円

19-25 大蔵堰 工種：田

未整備田	流出面積(㎡)
田番 1	213
田番 2	206
田番 3	101
田番 4	100
田番 83	832
田番 84	231
計	1,683

19-144 大蔵堰（4） 工種：水路（用水）

番号	名称	復旧工法	延長
①	1号用水路	流出部BF300B型 （幅300 深さ300） 片清畔	98m
②	2号用水路	流出部BF300B型 （幅300 深さ300） 片清畔	98m
③	3号用水路	流出部BF300B型 （幅300 深さ300） 片清畔	13m
		排土（下幅300 深さ300）堆積深10cm	97m
④	4号用水路	流出部BF300B型 （幅300 深さ300） 片清畔	13m
		流出部BF300B型 （幅300 深さ300） 片清畔	58m
		排土（下幅300 深さ300）堆積深10cm	38m
⑤	5号用水路	排土（下幅300 深さ300）堆積深10cm	124m
⑥	13号用水路	流出部BF450B型 （幅450 深さ450） 片清畔	70m
		排土BF450B型 フリューム内排土	45m
計			654m

19-145 大蔵堰（5） 工種：水路（排水）

番号	名称	復旧工法	延長
①	1号排水路	排水フリューム新設・両清畔盛土	106m
②	2号排水路	排水フリューム新設・両清畔盛土	115m
③	7号排水路	排土（下幅300 深600）	72m
		排水フリューム新設・片清畔盛土	174m
④	幹線排水路	排水フリューム内排土 4区間	246m
		排水フリューム在材使用・盛土 2区間	37m
計			750m

19-146 大蔵堰（6） 工種：道路

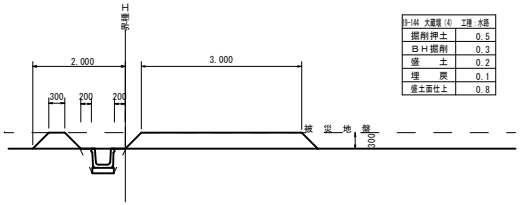
番号	名称	復旧工法	延長
①	1号道路	Aタイプ 表土・客土厚B=3.0m 路体盛土・敷砂利	98m
②	2号道路	Bタイプ 流出部B=3.0m 路体盛土・敷砂利	13m
計			111m

工種： 田 19-25 大蔵堰
工種： 水路 19-144 大蔵堰（4）
工種： 水路 19-145 大蔵堰（5）
工種： 道路 19-146 大蔵堰（6）

災害復旧計画図			
災害名	令和5年7月14日～16日発生梅雨前線豪雨災害		
地区箇所番号	19-25 19-144 19-145 19-146	地区名	大蔵堰 大蔵堰(4) 大蔵堰(5) 大蔵堰(6)
図面内容	全体計画図		
縮尺	図示	図面番号	1/2
事業主体	秋田市		
査定設計書作成	（株）矢留測量設計		

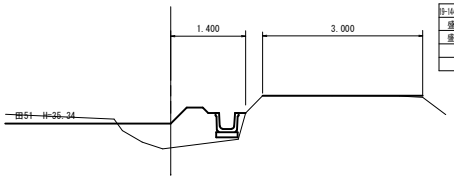
19-144　大蔵堰（4）　工種：水路（用水）
標準断面
S=1：50

②　用水路2号
流出部BF300B型　（幅300　深さ300）



19-144 大蔵堰（4）	工種：水路
掘削押土	0.5
ＢＨ掘削	0.3
盛　土	0.2
埋　戻	0.1
盛土面仕上	0.8

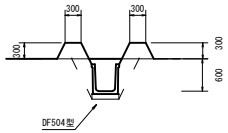
④　用水路4号
流出部BF300B型　（幅300　深さ300）



19-144 大蔵堰（4）	工種：水路
盛　土	0.6
盛土面仕上	0.6

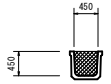
19-145　大蔵堰（5）　工種：水路（排水）
標準断面
S=1：50

①，②　排水路1，2号
排水フリューム（深500　幅400）雨溝畔（盛土）



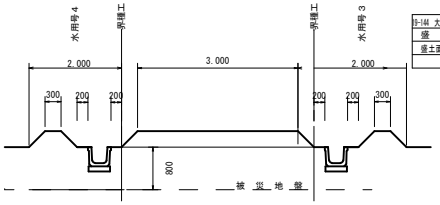
19-145 大蔵堰（5）	工種：水路
掘　削	0.7
埋　戻	0.3
盛　土	0.3
盛土面仕上	1.6

④　幹線排水路
BF450B型（幅450　深450）排土



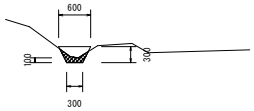
19-145 大蔵堰（5）	工種：水路
排　土	0.2

③，④　用水路3・4号
流出部BF300B型　（幅300　深さ300）



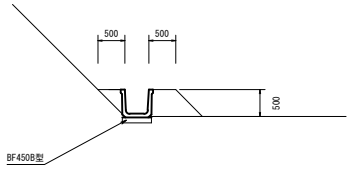
19-144 大蔵堰（4）	工種：水路
盛　土	1.4
盛土面仕上	0.8

③，④，⑤　用水路3・4・5号
排土（下幅300　深300）掘精深10cm



19-144 大蔵堰（4）	工種：水路
排　土	0.1
切土面仕上	0.5

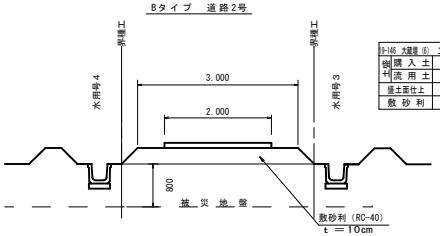
④　幹線排水路
BF450B型（幅450　深450）流出



19-145 大蔵堰（5）	工種：水路
埋　戻	0.1
盛　土	0.6
盛土面仕上	0.7

19-146　大蔵堰（6）　工種：道路
標準断面
S=1：50

Bタイプ　道路2号



19-146 大蔵堰（6）	工種：道路
購入土	1.0
流用土	2.9
盛土面仕上	0.8
敷砂利	2.0

工　種：　田19-25　大蔵堰
工　種：　水路19-144　大蔵堰（4）
工　種：　水路19-145　大蔵堰（5）
工　種：　道路19-146　大蔵堰（6）

災害復旧計画図			
災害名	令和5年7月14日～16日発生梅雨前線豪雨災害		
地区箇所番号	19-25 19-144 19-145 19-146	地区名	大蔵堰　大蔵堰（4） 大蔵堰（5）　大蔵堰（6）
図面内容	標準断面図		
縮尺	図示	図面番号	2/2
事業主体	秋田市		
査定設計書作成	（株）矢留測量設計		

様式１

質問および回答について

１　工事番号　　農災第１４号

２　工事名　　農地農業用施設災害復旧工事　大蔵堰地区ほか

３　入札書締切日　令和　6　年　3　月　22　日（ 金 ）

４　質問・回答

(1) 質　問　　本設計図書に対する質問は、以下のとおり行うものとします。

ア　提出期限　令和　6　年　3　月　18　日（ 月 ）　午後０時（正午）まで

イ　方法　　入札参加資格を有する者で、質問のある者は、内容を簡潔にまとめ質問書（様式集より）に記入のうえ、電子メールでのファイル添付にて、４(1)エの提出先に提出してください。
なお、口頭や電話での受付は行いません。
また、電子メールでの提出に際し、件名を「質問書」としてください。
当該電子メールにて到着確認のメールを返信しますので、返信がない場合は、速やかに下記の提出先まで連絡してください。

ウ　質問書様式　(工事・委託共通)入札・見積関係様式ページ内【設計図書に対する質問書】
https://www.city.akita.lg.jp/jigyosha/kouzi-nyusatsu-keiyaku/1002629/1010652.html

エ　提出先　　秋田市農地森林整備課
[電話]018-888-5739 [E-Mail] ro-agfr@city.akita.lg.jp

(2) 回　答　　質問への回答は、以下のとおり行うものとします。

ア　回答期限　令和　6 年　3 月　19 日（ 火 ）

イ　方法　　回答は、質問者の特殊な技術やノウハウ等に関し、質問者の権利、競争性の地位、その他正当な利益を害する恐れのあるものを除き、下記ホームページへ掲載します。
回答では、質問者の企業名等は公表しないものとします。

ホームページ（回答の掲載）
https://www.city.akita.lg.jp/jigyosha/kouzi-nyusatsu-keiyaku/1002625/1010228/index.html